

バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成 19 年 8 月 31 日

作成者：(財)日本システム開発研究所

	【施設名称】 大栄商事（有）
	【事業主体】 大栄商事（有）
	【所在地】 富山県氷見市
	【運転開始年】 平成 16 年（2004 年）
原材料および利用量	間伐材、自然石、鋼材
生産物（種類）	管理型間伐材魚礁
利用方法	漁港に設置
導入目的・経緯	主に護岸工事等を行う同社は、氷見周辺の地域で漁獲量が減少している等海の変化を見続けてきたことから、自然に優しく、豊かな海を取り戻せないかと考えたため
設備仕様	直径 5m の円形の鉄骨に自然石を敷き詰め、高さ 2m の杉の間伐材を周辺に規則的にボルトで固定
稼働状況	平成 11, 12 年に氷見漁港沖に 4 基、平成 14 年に氷見藪田漁港沖に 2 基設置
経済性関連データ	
導入効果	魚礁設置後の潜水調査では魚のエサとなるフナクイムシが集まったり、小エビやプランクトンも多数発生したのに加え、ヤリイカ等が産卵場所になっていることも確認された。またそれをエサにする稚魚・小魚等が集まっており、魚を自然に育てる人工魚礁として成果を上げている
運営上の課題	同魚礁本体のコスト削減等費用面についての検討が必要。
備考・参考資料	H17 年度 北陸管内におけるバイオマスの取組事例集